



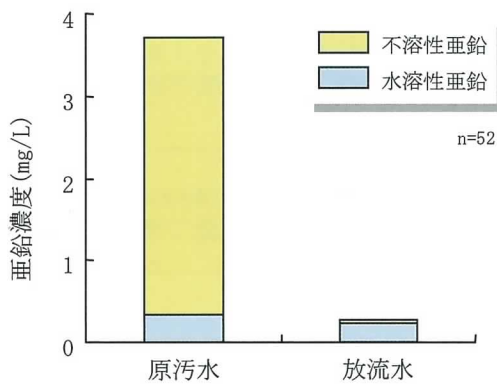
豚舎排水中の亜鉛は豚舎浄化槽で大幅に低減できます



豚舎浄化槽

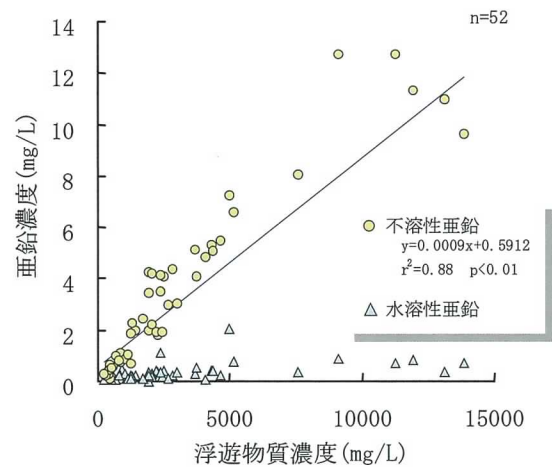


豚舎浄化槽からの放流水の水質調査



*) 原汚水中の亜鉛の90.8%は不溶性である

原汚水(浄化前)と放流水(浄化後)の亜鉛濃度



原汚水中の浮遊物質濃度と亜鉛濃度の関係

豚舎排水中に含まれる亜鉛の低減に、豚舎浄化槽(以下、浄化槽)が有効であることがわかりました。

豚舎からの排水には、飼料由来の亜鉛が混入しており、亜鉛濃度が高くなりがちです。そこで、県内の浄化槽を調査した結果、浄化前の原汚水中に比べ、放流水中では亜鉛濃度が大きく低

減していることがわかりました。

さらに、原汚水中に含まれる亜鉛は、約9割が不溶性亜鉛で、その濃度は懸濁している浮遊物質の濃度と高い相関があることがわかりました。これらから、浄化槽で浮遊物質をしっかり除去すれば、放流水中の亜鉛を大幅に低減できることが明らかになりました。

(畜産研究部)